

概要

<開催趣旨>

高品質製品の創出を得意技としてきた我が国のものづくりは、今後、科学に立脚したアプローチとの融合により更なる進化を遂げることが期待されています。中でも、シミュレーション技術はそのための基幹技術として、従来の概念を超えた新しい役割を果たすことが求められています。

このような状況を踏まえ、平成20年10月1日からスタートした「イノベーション基盤シミュレーションソフトウェアの研究開発」プロジェクト（文部科学省「次世代IT基盤構築のための研究開発」）は、産業イノベーションに資する我が国独自のシミュレーションソフトウェアの研究開発とその普及を目標に掲げ、ものづくりプロセスのイノベーションとプロダクトそのもののイノベーションを創出するための基盤となるシミュレーションソフトウェアの研究開発を推進しています。

特に、産業界で早期に利活用できるソフトウェアの開発を重要な目標として、我が国の産業の長期的発展の中核を担う、ものづくり産業、バイオ産業、ナノ産業の3分野を採り上げ研究開発を実施しています。

本プロジェクトの第3回目となる今回のシンポジウムでは、「みえてきた先端シミュレーションの実力」と題し、第1日目は我が国を代表する計算科学技術についての基調講演の後、京速コンピュータ時代において増々威力を発揮する先端ソフトウェアの事例研究についての報告を行い、将来の社会・産業への計算科学の新しい役割・貢献について提案します。第2日目には産業界で実際に利活用している方々から、先端的ソフトウェアの利活用報告を、分野ごとに数多く紹介します。

<開催要領>

(1) 開催日時

平成23年7月14日（木） 10:00～18:30

平成23年7月15日（金） 10:00～17:30

(2) 場所 東京大学生産技術研究所 コンベンションホール（An棟2階）

(3) 主催 東京大学生産技術研究所

(4) 後援（予定） 日本学術会議

（独）海洋研究開発機構、（独）分子科学研究所、（独）理化学研究所

（財）計算科学振興財団、スーパーコンピュータ技術産業応用協議会

(5) 協賛 学会（28機関予定）

(6) 参加費 無料

(7) 参加人数 300名（予定）